

黎明

題字は、校歌（玄関掲額）より



令和6年
3月25日（月）

志高く未来をきり拓け

本日、一・二年生は、それぞれの教育課程を無事「修了」しました。修了式では、先日の卒業式における式辞を引用し、次の様な話をしました。

この素晴らしい郷土は、先人たちが厳しい冬の寒さに耐え、土地を拓き、夏場の水不足との闘いの中で多くのため池や用水などのかんがい設備を築き、遺してくれた財産です。将来、故郷を出るのか、住み続けるのか、いったん出てまた戻るのか、その選択は皆さんに任されています。ただ一つ確かなことは、皆さんたち一人ひとりが、先人たちが残した財産であり、地域の資源そのものだということです。

しっかりと現実と未来とに向き合い、事実を正しく認識したうえで、じっくりと考え、自己の生き方を明確に持つことを期待したいと思います。



本年度、それぞれの地区の防災訓練に参加し、地域の課題（人口減少・活性化対策）について話し合うなど、**地域住民としての当事者意識**を高めるとともに、**将来の自分像や生き方について主体的に考える機会**を大切にしてまいりました。

これを足掛かりに、それぞれが高い志を掲げ、「未来」をたくましくきり拓く生徒へと一層の成長を見せてくれることを祈念しております。二年間ありがとうございました。

学校日誌〜学校ホームページから

レガシーを引き継いで 八日

二年生が卒業式の後片付けを行いました。昨日のうちに大まかな作業は終えていたというものの、シートの格納作業等を朝の早い時間であつという間にやり終えました。昨日卒業生から引き継いだ思いが早速行動に表れているようでした。

一年生英語は、自分の書いた英文の内容を描いた絵を友だちと交換し、英文で表現していました。絵を介して意が通じていく過程を楽しみながらの学習となりましたが、その姿には二年生と同様、**卒業式で高まった思い**が感じられました。

気付く力 感じる大切さ 十三日

一年生数学は、先日の県立高校後期選抜の入試問題に挑戦しました。既習事項で解ける問題もたくさんありました。そのことに気付くことで、**授業を中心とした積み上げの大切さ**を感じてほしいと思います。

二年生英語で、お気に入りの映画や本の紹介文を書くようです。今日は日本語で原稿を作成しました。中には七十年代の懐かしい映画を選んだ生徒もいて驚きました。**時空を超えて価値観を共有するツールとなる言語**の役割に気付くことを期待します。

伝統をともしきり拓く 二十一日

今日は、新入生の予備登校がありました。最初に卒業のお祝いの言葉を述べると「ありがとうございます」という元気のよい言葉があ

ちこちらから返ってきました。その後の話も真剣なまなざしで聞こうとする姿が見られ、嬉しい気持ちになりました。

中学校入学という節目を迎え、夢と志をもつて意欲を高めている様子が伝わってきました。これまでそれぞれの小学校で別々に学んできた子どもたちの出会いを祝福し、**新たな伝統をともしきり拓いていくことを期待**します。

ラスト一日をしっかりと 二十二日

季節外れの雪が舞った今週を終え、いよいよ修了式を残すのみとなりました。本日は授業を終え教室の整備をしました。一年間の生活の舞台とのお別れの時が近づいています。その後、最後の給食をみんな味わいました。昨日は新入生の姿を見て、**二年生は最上級生に、一年生は「先輩」と呼ばれる実感を高めたこと**と思います。来年度へ向け、**それぞれの心に大きな「夢」と「志」**が宿るよう、ラスト一日をしっかりと締めくくりたいと思います。

春休みを有意義に

「学び直しワークシート」等を活用して、復習と整理に取り組んでほしいと思います。持ち帰ったタブレットも活用してください。同じくタブレットで「よっかいち電子図書館」や「中日新聞学校データベース」を有効に使って、読む時間・考

える時間をたっぷり持つこともお勧めします。また、市内では中学生の自転車による交通事故が多く発生しており、ヘルメットを着用してないケースも目立ちます。**自らの安全、命を自ら守る行動をとることを期待**しています。